

『 第162回北海道歯科技工学術研修会 』のご案内

2022年 9月 10日(土) 12:30~17:30

『 デジタル技術の歴史と将来への夢 』

ーこれから押さえておくべきデジタル技術のポイントはどこかー

北海道大学大学院歯学研究院 准教授 上田 康夫



デジタル技術は、社会のさまざまな分野で、仕事のしかた（ワークフロー）のみならず、日常のさまざまな行動にまで変革を迫ります。

かつて、お買い物をする時、聖徳太子や福沢諭吉が描かれた紙幣を窓口で渡していた時代がありました。今ではカードやスマホや腕時計を機械にかざして「ピッ！」とか、犬の鳴き声のような電子音を鳴らして決済をするようになりました。さらには、お店には行かずにスマホの画面でポチッとタッチボタンを押すと、翌日、玄関ドアの外に箱が届いていたりする訳です。しかも、もし翌日ではなく翌月でも構わなければ、驚くことに、市内や国内どころか、世界各地から、私の玄関ドアの外に直接モノが届いてしまうのです。これは、私にとってはとても大きな衝撃でした。

もう35年くらい前の事ですが、石膏のスプリットキャストを介在させた咬合器のマウントを吸着して保持できるように、磁石を埋め込んで細工した事がありました。しかし、重量があるため普通の磁石ではダメで、使えそうなものを色々探した結果、サマリウムコバルト磁石を見つけて、札幌から渋谷の東急ハンズまで買いに行った事がありました。

このように、アナログな時代には、

- ①世の中にどのようなものが存在するのか、情報は知る人ぞ知るで、一般の人にはなかなか知り得ない、
- ②情報を知り得たとしても、実体のあるモノを入手するためには、それが存在する場所まで出向かなければなかなか手に入らない、

というのが日常でした。

これは、以前から情報にアクセス出来て、モノが入手出来ていたごく一部の特別な人達にとっては、デジタルな時代になっても自身の状況はあまり変わらず、DX（Digital Transformation）って何かいいことがあるのだろうか？、と感ずることだと思います。しかし、その他大勢の人達にとってみれば、大変革の時代です。要は、当人のやる気さえあれば、かつての「ごく一部の特別な人達」に迫るくらいの事が、誰でも成し得る時代になった訳です。これはとても大きなチャンスですし、これを逃す手はありません。

本講演では、この想いを常に頭の片隅に留めながら、CAD/CAMシステムが始まった歴史を少し振り返った後に、入り口となるセンシングの話題、バーチャルな世界で進む3Dデータの構造や取り扱い方の一端、コンピュータの3Dデータからリアルに戻す（実体化させる）際の加工様式、特にAM（Additive Manufacturing）技術と3Dプリンティング、などについて解説をしてみたいと思います。さらに、今後、注目されるであろう技術や方向性と、我々が進めておくべきポイントについて、私見と私の将来への夢を交えながら、述べさせていただきます。

『 第162回北海道歯科技工学術研修会 』のご案内

2022年 9月 10日(土) 12:30~17:30

『 デジタル技術の活用から展望 』

-CAD/CAMインレーの保険収載をふまえて-

北海道大学病院 医療技術部 特定技術部門 生体技工部 若林 侑輝



近年の歯科医療においてはCAD/CAMや光学印象、3Dプリンターといった新しい技術が大きな影響を与えています。2022年4月の診療報酬改定ではCAD/CAMインレーが保険収載され、今後もデジタル化はさらに進んでいくものと思われます。

北海道大学病院生体技工部ではCAD/CAM機器に始まり、各種3Dプリンターを導入しております。CAD/CAM機器を使用して、保険のCAD/CAM冠やジルコニア、FMC等で用いるワックスパターン、PMMAディスクによるテンポラリークラウンを製作しております。3Dプリンターにおいては、実物大臓器立体モデルやテンポラリークラウン、部分床義歯支台装置のパターン、コピーデンチャーなどを製作しています。私は歯科技工士としての従来の技術に加え、これらのデジタル機器を様々な臨床に応用し、使いこなせるように日々研究しております。

本講演では、CAD/CAMインレーへの対応を含めた北海道大学病院生体技工部におけるデジタル機器の活用をご紹介します。今後のデジタル化を見据えて皆様と勉強していききたいと思います。

会場

北海道歯科技工士会館
北海道札幌市北区北37条西4丁目3
TEL 011-717-7155

定員

◆北海道歯科技工士会館での受講 20名
◆オンラインでの受講先着 50名

参加資格

(受講料)

歯科技工士会員 (1,000円)
歯科技工士未入会員 (10,000円)
障がい者歯科技工士 (無料)
歯科医師会員 (無料)
歯科衛生士会員 (無料)
歯科技工士学生 (無料)

お振込先 ※オンライン受講者のみ

- 振込み手数料はご負担いただきます。
- 振込後の返金是对応しておりませんのでご容赦ください。

北海道銀行 麻生支店
□座番号 1567164
□座名義
公益社団法人北海道歯科技工士会 会費
会長 扇 照幾

開催地受講を希望の方

来場時に受付で受講登録を行なって下さい。受講料は学術大会当日にお支払いください。

- (1) 会員カードを所持している場合はご提示ください。
- (2) 会員カードを所持していない場合は、受講者名簿に必要事項を記入して下さい。
- (3) 当日は15:30をもって受付を終了致します。
(15:30分以降は、生涯研修単位取得の対象外となります)

オンライン受講を希望の方 ※お申込み(振込み)期限 9月2日(金)

- (1) 北海道歯科技工士会ホームページのお問い合わせフォームにお名前、属性(会員、未入会員など)、メールアドレス、電話番号を入力いただき、「第162回北海道歯科技工学術研修会オンライン受講希望」と入力ください。
- (2) 事務局からの「受付完了メール」受信後、有料受講者の方は9月2日までに必ず指定口座への振込をお済ませください。
- (3) 入金確認後、事務局から登録のメールアドレスに研修会当日用の視聴URLとZOOM簡易マニュアルをお送りします。
- (4) 当日は15:30をもってZOOM入室を終了致します。
(15:30分以降は、生涯研修単位取得の対象外となります)

北海道歯科技工士会お問い合わせフォームへのリンク先
オンライン受講を希望の方のお申込みはこちらから



<https://dougi.or.jp/inquiry/>



オンライン受講者への注意事項

- ※1 研修会当日は単位取得受付の為、ZOOMの設定から表示名を日本語でご自身の姓名に変更ください。
- ※2 受講者の音声はミュートに設定致します。カメラ機能のある端末を使用しカメラをONにしてご参加ください。単位修得の必須条件です。
- ※3 ZOOMでの受講は通信環境により不具合が発生する場合があります。インターネット環境の整った場所での受講をお勧めします。
- ※4 お申し込みのお名前とZOOM表示名との確認が取れない場合やむを得ず退出して頂く場合がございます。

公益社団法人北海道歯科技工士会
電話番号 : 011-717-7155
FAX : 011-717-6954
mail : dougi@dougi.or.jp